

宮城県道路公社 建設部						みやぎ県北高速幹線道路 工事事務所												
部		課		副		所		技術		技術		技術		技術		設		
長		長		参		長		副		主		主		主		計		
事				事				参		幹		幹		幹		者		
工 事 仕 様 書																		
事 業 年 度		平成28年度				工 事 番 号		平成 28年度 受(Ⅲ)橋第1－1－1号										
工 事 名		みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁下部工(1号橋)その1工事 実 施 仕 様 書																
路 線 名		(主)築館登米線																
施 行 地 名		登米市 迫町 北方 地内 外																
工 期		契約締結の翌日 から 平 成 30 年 9 月 28 日																
工 事 概 要																		
別紙のとおり																		

工 事 概 要	
(仮称)1号橋 橋長 L=741.0m 幅員 W=6.5m(7.5m)	
橋梁下部工 N=3基(A1橋台、P1橋脚、P2橋脚)	
A1橋台工(逆T式橋台)	
コンクリート	V= 335 m3
基礎杭(鋼管ソイルセメント杭 φ1200 L=16.0m)	N= 8 本
P1橋脚工(T型橋脚)	
コンクリート	V= 504 m3
基礎杭(鋼管ソイルセメント杭 φ1200 L=14.0m)	N= 16 本
仮締切(鋼矢板)	— 式
P2橋脚工(T型橋脚)	
コンクリート	V= 488 m3
基礎杭(鋼管ソイルセメント杭 φ1200 L=16.0m)	N= 16 本
鞘管コンクリート	V= 27 m3
仮締切(鋼矢板)	— 式
堤防仮締切(鋼矢板)	— 式
法覆護岸工	
高水護岸工(コンクリートブロック工)	A= 1,111 m2

みやぎ県北高速幹線道路

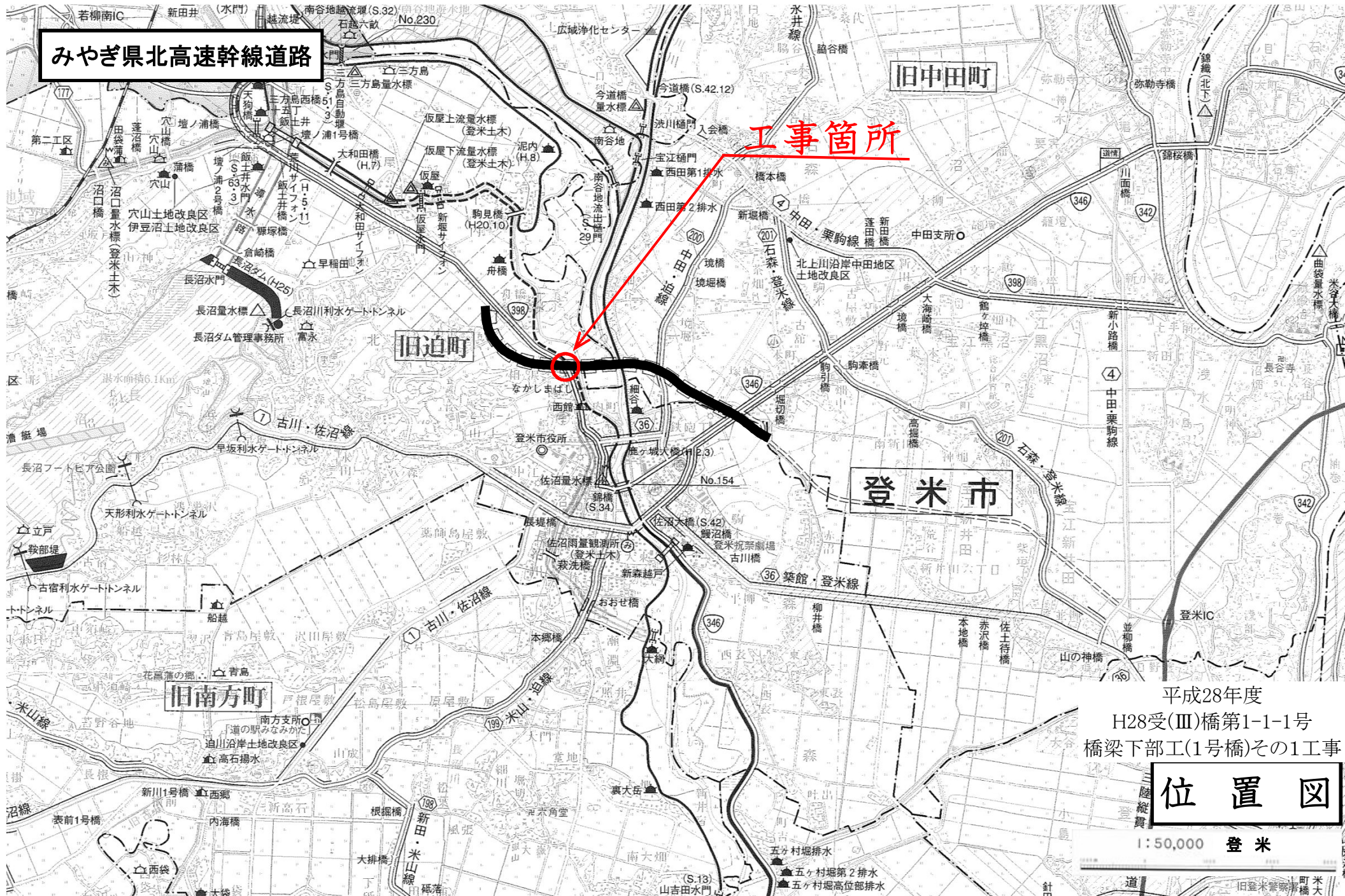
工事箇所

登米市

位置図

平成28年度
H28受(Ⅲ)橋第1-1-1号
橋梁下部工(1号橋)その1工事

1:50,000 登米



一 特 記 仕 様 書

施 工 条 件 明 示 書

工事番号		平成28年度 受(Ⅱ)橋第1-11号		工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅱ)橋梁下部工(1号橋)その1工事		事務所名	宮城県道路公社		施 工 方 法	備 考
1 共通仕様書の適用		項 目		条 件	内 容		施 工 方 法				
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という)の配置		(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特別) ※平成25年4月1日以降適用(現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特別について)		●ある 平成29年 5月 8日 (3 工程関係1に条件がない場合は、期日以前の着手も可能) ○ない 請負者が着手日を選択出来る工事(ワックス工事) 契約日から〇〇日以内 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること ○ない 請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約書に定める工期の初日から30日以内に現場施工に着手しなければならない、(但し前記仕様書第1編共通編第1章後則1-1-78)							
		上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事現場等を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納契約要約書「ホームページ」参照のこと。 http://www.pref.miyagi.jp/keiyaku/k450.htm									
3 工程関係		(1) 関連工事による施工時期の調整		●ある	特記事項1 (1)のとおり						
		(2) 施工時期による制限	●ある	特記事項2 (6)のとおり							
		(3) 関係機関等との協議の未成立	●ある	河川区域での工事となるため現在、河川占用等許可申請中となっている。	宮城県からの許可後に工事着手すること。						
		(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加	●ある	2号橋脚施工に係る堤防掘削及堤防締切については、非出水期(11月～5月)施工とする。							
4 公害対策関係		(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限	●ある								
5 安全対策関係		(1) 交通安全施設等の指定	●ある	特記事項1 (3)のとおり							
		(2) 占用埋設物との近接工事による施工方法、作業時間の制限	●ある								
6 排水工関係		(1) 湧水・湧水処理のための特別な対策の必要性	●ある								
7 建設副産物対策関係		(1) 共通事項	下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記にない場合は、監理職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの旨を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または循環型社会を推進するHPを参照)。								
		処理・処分場所	処理・処分方法	距離	制限時間						
		工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監理職員と協議すること。									
		(2) 建設発生土(表土剥取土)	●ある	場内運搬	0.3 km 以内	時 分 ～					
		(3) 建設発生土以外の建設副産物	●ある	登米市・米山町	中間処理・再資源化	12.0 km 以内	時 分 ～				
			●ある			12.0 km 以内	時 分 ～				
			●ある			km	時 分 ～				
			●ある			km	時 分 ～				
		(4) 再生材の利用	●ある	種類・数量	種類:再生砕石(RC-40) 数量:仕様書、数量計算書のとおり	km	時 分 ～				
8 工事現場のイメージアツツ			●ある	内容							
9 品質証明		(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認チェックリストの対象	●ある	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事、土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。							
		(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象	●ある	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事、土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。							
10 構造的な設計図書による発注方式			●ある	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-14によること。							
11 資材関係		(1) 生コンクリート	生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。								
		(2) 購入土	購入土を使用する場合は、材料承認時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。								
		(3) 宮城県グリーン製品の利用	必須								
		「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。	●ある	1. 植生基盤材等、堤防護岸構、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。							
			●ある	2. 盛土材、埋め戻し材							
		「宮城県グリーン製品」を使用した場合は、請負者は環境政策課(中より「チェックリスト」をダウンロードし、使用材料や数量等を入力後、工事完了後に監督職員に提出(電子メール)すること。	●ある	3. その他()							
		(4) 現場吹付法特工	●ある	4. その他()							
12 その他											
		(1) 舗装の下請制限について	●ある	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。							
		(2) 「タンク土砂運搬等」下請を行う工事における工事費内訳調査の対象の有無	●ある	本工事は「タンク土砂運搬等」下請を行う工事における工事費内訳調査の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、タンク土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。							
			●ある	請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。							
		(3) 三者会議の対象の有無	●ある	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う(三者会議)を取置する対象工事である。							
		(4) 貸与資料の有無	●ある	本仕様書によるもののほか工事施工に關して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。							
		(5) 発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無	●ある	貸与資料(『みやぎ東北高速幹線道路(佐沼工区)1号橋梁詳細設計業務委託』成果品、その他) 工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者に対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。							
		(6) 工事写真の電子化の対象の有無	●ある	本工事の工事写真の作成は、原則として、デジタル写真管理情報基盤(築)に基づき電子とすること。ただし、予定価格が8,000万円未満の場合は、監督員との協議により、従来の紙による作成も認められることとする。							
		(7) 工事実績情報システム(リンズ)登録	●ある	請負者は、工事請負代総額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し登録申請を行うこと。							
		(8) 工事書類の簡素化の試行について	●ある	1. 本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。 2. 「宮城県土木本部における工事書類簡素化一覽表」に基づき実施するものとする。また、工事打合せ簿、材料確認書、段階確認書、立会領、夜間・休日作業品の書類を提出については、電子メール活用を基本とする。 3. これらに定められていない場合は、監督職員と協議するものとする。							

東日本大震災に伴う特例制度

項 目	条 件	内 容	施 行 方 法	備 考
13 積算基準及び設計単価の適用期日				
(1) 積算基準及び設計単価の適用について	〇	い		積算基準及び設計単価は公告日の前月の基準及び単価としている。
(2) 工事請負契約締結後における設計単価の変更	〇	い		本工事は、当初工事請負契約締結後において、契約日を基準日として設計単価の変更を行うこととする。 なお、設計変更の対象は、買付単価・労働単価及び機械単価等の設計単価とする。
14 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用	〇	い		1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部において土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実績が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点まで設計変更する「労働者確保に関する積算方法」の工事である。 営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用 2 本工事は、その設計の基礎とした設計額(宮城県土木部において、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。(河川・道路橋構造物工事) 1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合 16.0% 2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、1.9%)通勤等に要する費用)の割合: 3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の写し等)は金額の適切性を証明する金額計算書など)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。 4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としてない。 5 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。 6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格取消等の措置を行う場合がある。 7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議することとする。 本工事は、「労働者宿舍設置に関する実行要領」(以下「実行要領」)に基づき監督員と事前に協議すること。 労働者宿舍の設置を希望する場合には、「実行要領」に要する監督員と事前に協議すること。
15 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	〇	い		下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調査地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)し、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)目、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。 購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト合材・石材等(山砂、砕石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。 受注者は、購入費及び輸送費に変更したい場合は、工事打合せ簿に次の事項を記載し、受注者から提出し、協議するものとする。 1 地域内及び基地に建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等) 2 遠隔地からの購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名前・使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料(品質証明) 3 遠隔地から建設資材を購入し、輸送する理由 4 製造・生産工場を選定した理由 5 見積り書 6 その他、必要と思われる事項
16 施工箇所が点在する工事の間接費の積算	〇	い		本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額は、同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率については、対象地区毎に設定する。
17 その他	〇	い		本工事で使用するアルボーザ(ガ)・薬液(キムリン)を除く、バグホフ、ダンプトラック(建設専用ダンプトラックを除く)については運転1時間(日)当たり105/100を乗せている。 ・本工事の施工において、調達(購入)する予定の土砂・砕石の設計単価は、現場調達価格(単価)としている。ただし、契約後、施工計画に基づき、土砂・砕石の調達条件について異なる場合は、監督員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の搬置き等)が生じる場合は、監督員と協議すること。 間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の支支出50%増し、積算基準による積算より増していることが確認されたため、積算基準率より各工種区別に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗せている。 補正係数 共通仮設費:1.5 現場管理費:1.2

無事記

[illegible]

工事数量総括表(本01)

工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）橋梁下部工（1号橋）その1工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 橋梁下部	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
橋梁下部		式		1			
橋台工 （A 1 橋台）		式		1			
作業土工		式		1			
床掘り	土質：土砂	m3		540			
埋戻し	土質：流用土	m3		330			
土砂等運搬	土質：土砂（岩塊・玉石混り土含む）	m3		180			
既製杭工		式		1			
鋼管杭	鋼管径（杭径）：1,000mm、鋼管長さ（杭長）：16.0m	本		8			
積込（ルース）	土質：土砂	m3		70			
土砂等運搬	土質：土砂（岩塊・玉石混り土含む）	m3		70			
橋台躯体工		式		1			

工事数量総括表(本01)

工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）橋梁下部工（１号橋）その１工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 橋梁下部	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
基礎材	基礎材規格(砕石の場合等):再生ク ャァン40～0, 敷厚:17.5cm超20.0cm以 下	m2		60			
均しコンクリート	コンクリート規格:18-8-40-60%, 敷厚:10cm	m2		60			
コンクリート	コンクリート規格:24-8-25(20)-55%, 養生 費:一般養生, コンクリート夜間割増の有無 :無し	m3		205			
コンクリート	コンクリート規格:30-8-25(20)-55%, 養生 費:一般養生, コンクリート夜間割増の有無 :無し	m3		130			
鉄筋	鉄筋材料規格・径:SD345 D29～32	t		8.41			
鉄筋	鉄筋材料規格・径:SD345 D16～25	t		14.54			
鉄筋	鉄筋材料規格・径:SD345 D13	t		0.33			
鉄筋(エボキ鉄筋)	鉄筋材料規格・径:SD345 D16	t		0.15			
型枠	型枠の種類:一般型枠	m2		420			
型枠	型枠の種類:支承箱抜 φ200	m		9			
支保	支保耐力:f<=40kN/m2[t<=120cm]	空m3		33			

工事数量総括表(本01)

工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）橋梁下部工（1号橋）その1工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 橋梁下部	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
支保	支保耐力:f<=40kN/m2[t<=120cm]	空m3		5			
足場	安全ネットの有無:不要	掛m2		450			
台座コンクリート (型枠含む)	コンクリート規格:24-8-25(20)-55%	m3		0.5			
塗装工		式		1			
コンクリート塗装	塗装種別:CC-B	m2		64			
RC橋脚工 (P 1 橋脚)		式		1			
作業土工		式		1			
床掘り	土質:土砂	m3		1,160			
埋戻し	土質:流用土	m3		770			
土砂等運搬	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		300			
既製杭工		式		1			

工事数量総括表(本01)

工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）橋梁下部工（1号橋）その1工事			事業区分 工事区分	道路新設・改築 橋梁下部	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
鋼管杭	鋼管径(杭径):1000mm、鋼管長さ(杭長):14.0m	本		16		
積込(ルース)	土質:土砂	m3		150		
土砂等運搬	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		150		
橋脚躯体工(構造物単位)		式		1		
T型橋脚	高さ区分:10m以上15m未満,打設量区分:440m3以上650m3未満,コンクリート規格:30-8-25(20)-55%,化粧型枠の有無:	m3		504		
鉄筋	鉄筋材料規格・径:SD490 D51	t		24.94		
鉄筋	鉄筋材料規格・径:SD345 D51	t		79.24		
鉄筋	鉄筋材料規格・径:SD345 D29～32	t		27.93		
鉄筋	鉄筋材料規格・径:SD345 D16～25	t		5.69		
鉄筋(エポキシ鉄筋)	鉄筋材料規格・径:SD345 D16	t		0.347		
台座コンクリート (型枠含む)	コンクリート規格:24-8-25(20)-55%	m3		1.4		

工事数量総括表(本01)

工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）橋梁下部工（1号橋）その1工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 橋梁下部	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
型枠	型枠の種類: 支承箱抜 φ250	m		25			
RC橋脚工 (P 2 橋脚)		式		1			
作業土工		式		1			
床掘り	土質: 土砂	m3		1,220			
埋戻し	土質: 流用土	m3		850			
土砂等運搬	土質: 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		280			
既製杭工		式		1			
鋼管杭	鋼管径(杭径): 1000mm、鋼管長さ(杭長): 16.0m	本		16			
積込(ルース)	土質: 土砂	m3		160			
土砂等運搬	土質: 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		160			
橋脚躯体工(構造物単位)		式		1			

工事数量総括表(本01)

工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）橋梁下部工（１号橋）その１工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 橋梁下部	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
T型橋脚	高さ区分:10m以上15m未満, 打設量区分:440m3以上650m3未満, コンクリート規格:30-8-25(20)-55%, 化粧型枠の有無:	m3		488			
鉄筋	鉄筋材料規格・径:SD490 D51	t		22.74			
鉄筋	鉄筋材料規格・径:SD345 D51	t		73.54			
鉄筋	鉄筋材料規格・径:SD345 D29～32	t		31.16			
鉄筋	鉄筋材料規格・径:SD345 D16～25	t		6.55			
鉄筋(コルキン鉄筋)	鉄筋材料規格・径:SD345 D16	t		0.35			
台座コンクリート (型枠含む)	コンクリート規格:24-8-25(20)-55%	m3		1.4			
型枠	型枠の種類: 支承箱抜 φ250	m		25			
鞘管工		式		1			
コンクリート	コンクリート規格:24-8-25(20)-55%	m3		27			
鉄筋	鉄筋材料規格・径:SD345 D16～25	t		1.87			

工事数量総括表(本01)

工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）橋梁下部工（1号橋）その1工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 橋梁下部	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
鉄筋	鉄筋材料規格・径:SD345 D13	t		0.16			
型枠	型枠の種類:一般型枠	m2		130			
足場工	安全柵の有無:不要	掛m2		130			
ゴム支承 (アンカーバー、キャップ含む)	200×200×23	個		20			
目地材		m2		6			
補強筋	鉄筋材料規格・径:SD345 D10	t		0.08			
バックアップ材	弾性シール材 100×100	m		15			
法覆護岸工		式		1			
作業土工		式		1			
床掘り	土質:土砂	m3		530			
法面整形(盛土部)	法面締固めの有無:無し, 現場制約の有無:無し	m2		2,390			

工事数量総括表(本01)

工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）橋梁下部工（１号橋）その１工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 橋梁下部	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
埋戻し	土質：流用土	m3		410			
コンクリートブロック工(平ブロック張)		式		1			
コンクリートブロック基礎	コンクリート規格：18-8-40-60%, 底幅：615cm, 高さ：1,000cm	m		118			
平ブロック張	ブロック規格：W=350kg/m2以上、2m2/個	m2		1,111			
小口止コンクリート	コンクリート規格：18-8-40-60%	m3		7			
仮設工		式		1			
土留・仮締切工 (P 1 橋脚)		式		1			
鋼矢板	鋼矢板型式：IV型, 平均鋼矢板長さ：13.5m, 鋼矢板打込長：13.2m, 平均鋼矢板引抜長：13.2m	枚		135			
切梁・腹起し		t		41.4			
土留・仮締切工 (P 2 橋脚)		式		1			
鋼矢板	鋼矢板型式：IV型, 平均鋼矢板長さ：11m, 鋼矢板打込長：10.7m, 平均鋼矢板引抜長：10.7m	枚		154			

工事数量総括表(本01)

工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）橋梁下部工（１号橋）その１工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 橋梁下部	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
切梁・腹起し		t		49.4			
土留・仮締切工 （P 2 橋脚 堤防締切）		式		1			
鋼矢板	鋼矢板型式:Ⅳ型, 平均鋼矢板長さ:14m, 鋼矢板打込長:9m, 平均鋼矢板引抜長:9m	枚		279			
鋼矢板	鋼矢板型式:Ⅳ型, 平均鋼矢板長さ:11.5m, 鋼矢板打込長:7.5m, 平均鋼矢板引抜長:7.5m	枚		77			
タイロッド・腹起し	タイロッド材質:高張力鋼 φ32、φ50	t		12.4			
中詰盛土	施工幅員:2.5m以上4.0m未満	m3		850			
中詰盛土撤去		m3		850			
堤防掘削・埋戻し	土質:土砂	m3		420			
堤防盛土・撤去	土質:土砂	m3		830			
水替工		式		1			
ポンプ排水 （P 1 橋脚）	排水量:0以上40(m3/h) 未満, 排水方法:作業時排水	式		1			

工事数量総括表(本01)

工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）橋梁下部工（１号橋）その１工事			事業区分 工事区分	道路新設・改築 橋梁下部	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ポンプ排水 （P２橋脚）	排水量:0以上40(m3/h)未満,排水方法:作業時排水	式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員		式		1		
直接工事費		式		1		
共通仮設		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
重建設機械分解組立輸送費 (クローラ式杭打機)		式		1		
重建設機械分解組立輸送費 (クローラクレーン)		式		1		
重建設機械分解組立輸送費 (油圧クラムシェル)		式		1		
仮設材運搬費 (往路)		式		1		

工事数量総括表(本01)

工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）橋梁下部工（１号橋）その１工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 橋梁下部	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
仮設材運搬費 (復路)		式		1			
共通仮設費（率計上）		式		1			
純工事費		式		1			
現場管理費		式		1			
工事原価		式		1			
一般管理費等		式		1			
工事価格		式		1			
消費税額及び地方消費税額		式		1			
工事費計		式		1			